

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25260	
事業名	障がい者「元気ショップ」運営費						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課					
	課長名	児玉 哲寛	担当者名	斉藤 正太	電話番号	011-211-2936	
施策名	主	地域で共生する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	元気ショップの周知及び売上増を図るとともに製品の向上を図るため、企業等とコラボしたイベント等を実施する。元気ショップでの年間売上額 当初(2018年度):94,602千円→目標(2022年度):101,000千円				
		長期	障がい者施設等で製作された製品を販売することで、障がい者理解の促進及び工賃向上を図る。				
	取組内容	【目的】障がい者施設等で製作した製品を常設販売することにより、障がい者の理解や工賃向上を図る。 【内容】店舗の管理委託業務及び運営費の一部補助					
	実施結果	元気ショップでの店舗販売のほか、イオンや各種イベントへの出前出店、郵便局へのポスター掲出等、元気ショップの周知及び売上増などに取り組んだ。					
事業実施における工夫点	出前出店の情報を積極的に提供した。						
対象者	障がい者			開始	平成18年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律、札幌市障がい者施設等製品常設販売所運営費補助要綱						
他都市の状況	障がい者福祉ショップを設置、運営している都市が複数ある。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	60,834	63,000	62,988	63,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.2	0.2	0.0	0.2	
人件費	1,440	1,440	0	1,440	
計(事業費+人件費)	62,274	64,440	62,988	64,440	
事業費の内訳	令和3年度決算	需用費(光熱水費)1、188千円、委託料4、620千円、賃借料20、625千円、補助金36、555千円			
	令和4年度予算	需用費(光熱水費)1、190千円、委託料4、631千円、賃借料20、389千円、補助金36、790千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	販売売上(ショップ・いこ〜の合計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	82,796千円	101,000千円	90,387千円	101,000千円	
活動指標2	指標名	来店(購入)者数(ショップ・いこ〜の合計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	119,165人	145,365人	102,615人	145,365人	
成果指標1	指標名	効率性指標(事業費/来客者数、ショップ・いこ〜の合計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	512円/人	433円/人	880円/人	433円/人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	障がい者施設及び障がい者への還元(売上の約90%)だけでなく、障がい者施設製品が多くの市民の目に触れる機会となっており、障がい者の自信や、働く意欲につながっていると思料される。また、時期に応じて各種イベントを開催したり、福祉に関する催事の際に、店舗外でも出前販売することにより市民への障がい者理解に大きく寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	障がい者を含む販売員がシフト勤務対応できるようその運営費を一部補助しており、出前販売のこと等を考慮すると、必要な人員が十分確保できるような補助額となっている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	運営事業者の創意工夫による店舗運営を進める上では、補助による運営が妥当である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	元気ショップでの製品販売により、障がいのある方が作られた製品を直接市民に手に取ってもらえる機会が増え、理解促進に繋がる。また、売り上げが障がい者の収入増にもつながるため、事業実施への満足度は高いと考えられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	売上の維持向上のためには、店舗外販売の機会を増やすなどの工夫が必要。また、運営体制の見直しなど、店舗運営の効率化も検討が必要。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	安定して売上がある。今後も出前出店を含む店舗外販売機会の拡大、店舗運営の効率化、広報戦略等について、元気ショップ運営法人と取り組む必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 今後も売上の維持向上、出前出店を含む店舗外販売機会の拡大、店舗運営の効率化、広報戦略等について、元気ショップ運営法人と取り組む必要がある。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 経費節減などに取り組んでいるが、現行の予算規模は必要不可欠である。		見直し効果額	0 千円